



平成20年度版 北九州市の環境 概要版 目次

001 はじめに

- 001 北九州市の環境行政のあゆみ
- 001 持続可能な社会の実現に向けて

002 特集

- 002 「環境モデル都市・北九州」の取組について
- 002 北九州市環境基本計画の策定
- 002 光化学スモッグ注意報の発令について
- 003 中国における循環型都市協力の実施
- 003 食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業
- 003 第2回3R推進全国大会の開催
- 003 こどもエコクラブ全国フェスティバル in 北九州

004 第1章 地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化

- 004 第1節 環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環
- 008 第2節 優れた環境人財の育成
- 010 第3節 環境情報の共有と発信
- 010 第4節 国際的な連携・協働の推進

012 第2章 地域からの地球温暖化対策の推進

- 012 第1節 北九州市地球温暖化対策地域推進計画の推進
- 015 第2節 北九州市役所の地球温暖化対策
- 017 第3節 ヒートアイランド対策

018 第3章 循環型の生活様式・産業構造への転換

- 018 第1節 ごみの減量化・資源化の推進
- 020 第2節 北九州エコタウン事業の推進

022 第4章 豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

- 022 第1節 豊かな自然環境の保全とふれあいの確保
- 024 第2節 安心して暮らせる快適な生活環境の確保
- 030 第3節 まちの魅力や価値を高める取組の推進
- 031 第4節 開発事業等における環境配慮の推進

032 北九州市の概要と環境関連施設

034 予算



はじめに

北九州市の環境行政のあゆみ

北九州市は、明治34年の官営八幡製鐵所の操業開始以降、四大工業地帯の一つとしてわが国の経済成長に大きく貢献してきましたが、昭和30年代半ばから昭和40年代半ばに大気汚染や水質汚濁などの公害をもたらすことになりました。このような中、市民・事業者・行政などの関係者が一体となって取組を実施したことにより、昭和50年代後半には劇的に改善されることとなりました。

公害を克服した昭和50年代後半から、政策の重点は公害対策から快適な都市環境の創造へと移り、市民生活の質的向上と安全で快適な生活環境都市づくりを目指した取組を進めていきました。昭和60年代以降になると、地球温暖化や酸性雨などの地球規模での環境問題がクローズアップされるようになりました。本市では、平成8年に、アジェンダ21の地域版を策定、平成12年には「北九州市環境基本条例」を制定し、環境保全に関する取組を総合的・計画的に推進していきました。また、公害を克服する過程で培われた環境保全技術等を、同様の問題に苦しんでいる開発途上国に役立ててもらおうと、昭和60年代から他の自治体に先駆けて環境国際協力を実施し、国際的に高い評価を受けることとなりました。さらなる都市間環境協力の推進を図るため、アジア環境都市ネットワークに加え、東アジア経済交流推進機構を創設し、様々な取組を実施しています。

環境保全施策に取り組んできた一方、ものづくりの幅広い裾野を持つ産業技術の集積をもとにして資源循環型社会の構築を図る先駆的な取組も進めてきました。その中でもエコタウン事業は平成9年7月に全国に先駆けて国の承認を受け「産業振興施策」と「環境保全施策」を統合した独自の地域政策として様々な取組を進めています。

現在、地球的規模で発生している環境問題に取り組んでいくためには、日々の暮らし方、産業活動や都市づくりのあり方を見直す必要があります。本市では、平成16年10月、世界の環境首都を目指し、市民・NPO、事業者、行政が協働して、長期的な活動ビジョン「環境首都グランド・デザイン」を策定しました。また、「環境首都グランド・デザイン」を具体化する行政計画として、北九州市環境基本計画を平成19年10月に策定しました。また、本市は、平成20年7月、温室効果ガスの大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする「環境モデル都市」に、全国82地域の応募の中から6都市の1つとして国から認定されました。

持続可能な社会の実現に向けて

環境首都グランド・デザイン、北九州市環境基本計画では、「真の豊かさにあふれるまち」を「ずっとここで暮らしたいと思えるような安らぎと生きがいのあるまち」、すなわち「持続可能な社会であるまち」と定義し、目標としています。

本市の豊かな自然と、環境に配慮した多くの産業や技術を活かし環境問題に積極的に取り組んできた歴史、そして市民の力を最大限に発揮しながら、率先して持続可能な社会の実現に努めていきます。

●地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化

今日の様々な環境問題を解決するため、市民一人ひとりがより良い環境、より良い地域をつくっていかうとする意識や能力を持ち、行動を起こしていく「市民環境力」を高めていきます。

●地域からの地球温暖化対策の推進

地球温暖化の原因は、企業等による産業活動や私たちの日常生活におけるエネルギー使用などの人為起源の温室効果ガスの増加だとほぼ断定されています。地球温暖化の進行をくいとめるため、市民・NPO、事業者、行政が一体となって取組を進めていきます。

●循環型の生活様式・産業構造への転換

廃棄物の問題は、私たちの生活や経済活動と切り離せない問題です。社会経済活動やライフスタイルにおいて、環境配慮の視点を付加し、適切な役割分担のもと、循環型の生活様式・産業構造へ転換を図っていきます。

●豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

公害の著しい時代から自然の力を取り戻した本市では、街の中にも市民に親しまれている水辺や緑が多くあります。このような自然環境や、歴史や文化、快適で清潔な生活環境をこれからも維持し、さらに優れたものにしていきます。

